

(株)ディマンシェ

岐阜市・インテリア用品販売施工

従業員数／男性11名 女性48名 計59名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①柔軟な職種変更により、職場復帰をサポート
- ②業務の分業制導入で時間外労働を削減
- ③店舗間の業務共有とグループウェアの導入による業務効率化



代表取締役の白木希佳さん(左)と常務取締役の三輪里佳さん(右)が手に持るのは、仕事と家庭の両立支援ハンドブック「ディマンシェスタイル」。

また全社員のアンケートから、短時間勤務制度のほか、必要な制度を導入。育児休業復帰支援プランで円滑な復帰を支援するとともに、仕事を分業化してライフステージに応じた職種を選択可能にした。2人の子を出産後、職場復帰したインテリアアドバイザーの小牟田美由紀さんは復帰を機に営業をフォローする販売サポートを担当。「やりがいを感じつつ、短時間勤務で育児にも対応でき、充実した働き方ができる」と話す。

16年からは、職種や階級ごとに求められる能力や給与を明確化した「キャリアアップ・パス・プラン」を設け、係長級の社員を計画的に育成。希望や状況に応じたキャリアアップを応援し、現在では女性管理職比率50%以上を実現している。



店舗責任者にキャリアアップした岡崎店店長の佐藤紀子さん(左)と、育児復帰を機に販売サポートを担当する小牟田美由紀さん(右)。

柔軟な働き方で活躍を後押し

ディマンシェでは、社長を筆頭に仕事と家庭を両立する女性幹部がロールモデルとなり、男女問わず働きやすさと働き甲斐を感じられる社風を築いている。2014年には妊娠から育休までに必要な備えを

記した「ディマンシェスタイル(仕事と家庭の両立支援ハンドブック)」と「母性健康管理制度マニュアル」を作成。男性も含め社内全体へ周知したほか、社内グループウェアでスケジュールの一元化や業務を共有し、妊娠育児中の社員の突発的な休みにも、チームで対処できる環境を整えた。

また全社員のアンケートから、短時間勤務制度のほか、必要な制度